

第5回 精神障がいのある親とその子どもの支援に関する学習会

精神障がいのある親とその子どもの困難・生きづらさに目が向けられるようになってきましたが、未だ支援が求めやすい環境とは言えません。こうした状況にある親・子が必要とする支援は何なのかその現状を知り、私たちにできることは何か、支援を繋いでいくためにはどうすれば良いのか？をみなさんと考えたいと思います。この場が、親支援・子ども支援を考えようとする方々の情報交換の場にもなればと願っています。

第5回目は、日本ケアラー連盟の森田先生・澁谷先生から、日本ケアラー連盟のヤングケアラープロジェクトの取り組み（ヤングケアラーについての調査やヤングケアラーの声に基づき、ヤングケアラーのニーズを明らかにし、効果的な支援を作っていくなど）について報告いただき、メンタルヘル스에不調のある親やきょうだいを持つヤングケアラーのニーズや、学校における支援、関係者が共通に取り組むことができる課題について考えていきたいと思ひます。

日 時：平成31年5月26日（日）13:00～16:30

場 所：日本福祉大学 東海キャンパス（東海市大田町川南新田229）

参加対象：精神障がいのある親とその子どもの生活や支援について考えたいと思っている方

参加費：500円（ブレイクタイムのお茶代）

参加申し込み：5月12日（日）までに、①参加者氏名、②所属、③職種（立場）、④連絡先を下記のメールアドレスにご連絡ください。受付完了のメールを送らせていただきます。

* 取り組み案内など参加者に情報発信したい内容（チラシ等）がありましたら、各自・各機関で持参していただくようお願いいたします。

プログラム

12:30～	受付
13:00～15:00	話題提供とディスカッション 「ヤングケアラープロジェクト」の取り組みについて ・ヤングケアラーのケア状況とニーズ 立正大学：森田 久美子 先生 ヤングケアラー経験者1名 ・教育現場におけるヤングケアラー支援 成蹊大学：澁谷 智子 先生 ⇒ <u>詳細は、裏面をご覧ください</u> ・ディスカッション
15:00～15:30	ブレイクタイム（交流）
15:30～16:30	各機関の情報伝達 と 次年度の予定

主 催：親&子どものサポートを考える会

後 援：特定非営利活動法人 地域精神保健福祉機構（コンボ）
公益社団法人 全国精神保健福祉会（みんなねっと）
日本福祉大学、鈴鹿医療科学大学

申し込み&：鈴鹿医療科学大学 看護学部 土田幸子

問い合わせ sachiko@suzuka-u.ac.jp



ご参加、お待ちしております

《今回お話いただく「ヤングケアラープロジェクト」について》

日本ケアラー連盟では、病気や障がいなどによりケアが必要な家族がいる場合に、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている子ども・若者を、ヤングケアラー・若者ケアラーと呼んで、彼らの実態に関するエビデンスの蓄積や、効果的な支援プログラムやツールづくり、社会的認知の促進に向けた啓発などに取り組んでいます。ケアが必要な人には、メンタルヘル스에不調のある親やきょうだい、祖父母なども含まれています。

今回は、日本ケアラー連盟が南魚沼市や藤沢市で取り組んできたヤングケアラーについての調査や、ヤングケアラー経験者の声に基づき、メンタルヘル스에不調のある親やきょうだいを持つヤングケアラーのニーズ、学校におけるヤングケアラーの支援について考えていきたいと思ひます。

《話題提供とディスカッションの大まかな流れ》

前半の80分で、「ヤングケアラープロジェクト」の取り組みについてご報告いただきます。

- ① ヤングケアラープロジェクトの概要 立正大学：森田 久美子先生
- ② ヤングケアラーのケア状況とニーズ
 - ・ヤングケアラー調査の結果から – 精神疾患のある家族を持つヤングケアラーに焦点をあてて – 立正大学：森田 久美子先生
 - ・ヤングケアラー経験者の声から ヤングケアラー経験者 1名
- ③ 教育現場におけるヤングケアラー支援 – 南魚沼市での取り組みから – 成蹊大学：澁谷 智子先生
 - ・ヤングケアラーの発見ツールなど

後半の約30分で、質疑をいただいたり、参加者の皆さんと精神疾患のある親を持つ子どものニーズの理解や支援にどのように活用できるかを考えていきたいと思ひます。

《会場案内》

愛知県東海市大田町川南新田 229 番地
日本福祉大学 東海キャンパス 南館 4 階

* 太田川駅横にコーヒーショップ等の軽食店が入ったスーパーマーケットがあります。



交通アクセス（名鉄利用）

